

経済建設委員会会議録

開催年月日	平成 28 年 11 月 11 日 (木)	場 所	議会委員会室
案 件	事務調査第 3 号「農業担い手対策の実態について」		
出席委員	黒岩委員長、石上副委員長、大栗委員、宇治委員、佐藤委員、広瀬委員		
欠席委員		事 務 局	澤田
オブザーバー		傍 聴 者	
説 明 員			
開 会 時 刻	9 時 5 9 分	実 会 議 時 間	1 時 間 1 0 分
		休 憩 時 間	時 間 4 2 分
閉 会 時 刻	1 1 時 5 1 分	延 会 議 時 間	1 時 間 5 2 分
次 回 日 程	平成 28 年 11 月 24 日 (木) 臨時会終了後		
要 点 記 録	<p>< 概 要 ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・都市事例調査素案について協議し、最終報告をまとめた。 ・事務調査のまとめについては、資料要求した項目に沿って「富良野市の農業概況」「これまでの農業担い手対策の経過」「農業担い手育成センターの取り組みの現状」「農業担い手育成機構の業務」「市内の農業法人の活動状況」「緑峰高校の特別専攻科の修学状況」等について、委員からの意見を付していく。 ・担い手対策の実態なので、これまでの経過、現状着手している事業、これからやった方がいいものと分けて報告した方がよい。 ・報告に加えるべき項目は、都市事例の参考事例、協議会の問題点、独立就農時の住居や農機具の購入経費の問題。 ・調査項目が担い手対策の実態だが、将来展望も入れてもいいのではないかと。 ・いまの担い手育成センターの業務内容に加えて、若者の企業就農を後押しできる体制があってもいい。 ・新たな担い手として子育て中の母親への支援策も必要で、子育て環境、働ける環境を考えるべき。 ・本市は、そのブランドを活かしたふらのらしい支援のあり方を考え、資金面での支援も必要。 ・土地・住居・農機具等の問題解決には第三者継承も有効で、里親制度をやっていて自分のところに後継者がいない場合などが考えられる。 		

以上、委員会会議録について富良野市議会委員会条例第 27 条の規定により、ここに署名する。

経済建設委員長 黒岩岳雄